

子どもと教育、教職員の働き方について 市教委に申し入れ

コロナウイルスの感染が収まらない中、豊中市は5月7日から10日まで引き続き臨時休業としました。

全教豊中は4月7日に次いで2度目となる申し入れを27日におこないました。

感染不安に対して

在宅勤務などもおこなわれていますが、学校メールで突然「児童・生徒へ電話を入れるように」と一方的に日時を指定するような学校が見られます。

全教は教職員の勤務について、次の3点の申し入れを行いました。

- ①感染リスクについて管理職が正確に理解するとともに、基礎疾患のある、また、妊娠中の教職員について、無理して出勤させることのないようにすること。
- ②出勤の際、職員室等で感染リスクが高くなる「3密」をさける方策をとるよう管理職を指導すること。
- ③管理職が教職員の出勤環

境（公共交通機関利用、ラッシュ時刻の利用）を掌握し、感染不安が生じる出勤をさせないようにすること。

市教委も「3密」を避ける工夫を求め

28日、市教委の校長宛メールで「職員会議等の打ち合わせを行う場合は、勤務体制を考慮しつつ、3密を避ける方法等工夫」としています。

ある規模の大きな中学校

職場では、体育館で職員会議をおこなうところもあります。

学校再開に向けた、いまだかつてないとりくみをー提言

テレビ等でオンライン授業がとりあげられ、豊中でも授業動画づくりのおしつけがうまれてきています。

大阪教育文化センターが提言を出しました。「学校再開に向けた、いまだかつてないとりくみをー子どもたちにとって、大事なことを絞りこんで、教育内

<子どもと教育について>申し入れ10項目

- ①インターネットを活用した情報発信をすすめる上で、各家庭におけるネット環境の具体的な把握や具体的な支援方策をすすめること。
- ②授業動画づくりは市の教育センターで責任をもってすすめること。
- ③学校再開時や登校日実施にむけて、非接触型体温計・アルコール消毒液ポンプなど、学校現場の声を聞き、必要なものを早急に配布・準備すること。
- ④感染予防の対策方法を具体的に各学校に周知すること。特に保健室等での対応マニュアルを作成すること。
- ⑤感染が疑われる子どもたちが待機（隔離）する場所を確実に確保し、保健室が感染していない児童生徒と接触する場にならないようにすること。
- ⑥緊急に必要な教職員等を増員配置するなど、教室内での少人数指導が可能となるよう条件整備をすすめること。
- ⑦熱中症対策として予算化されている体育館冷房工事を予定通りおこなうこと。
- ⑧中学校チャレンジテストは実施を見送るよう府に具申すること。
- ⑨修学旅行、林間学舎延期に伴うバス代等の大幅負担増が生じないように予算措置をおこなうこと。
- ⑩学校給食について、今年度の無償措置を講じる

容の大胆な削減をー」緊急時の今、教育は何を大事にする必要があるのか、ぜひ一読ください。右QRコードから。

このセンターは職員・父母・府民共同の創られた研究所です

大阪教育文化センター

【提言】学校再開に向けた、いまだかつてないとりくみを

いまだかつてない事態には、いまだかつてないとりくみを
—子どもたちにとって大事なことを絞り込んで、教育内容の大胆な創製を—



新学習指導要領は
本を見直しを!

